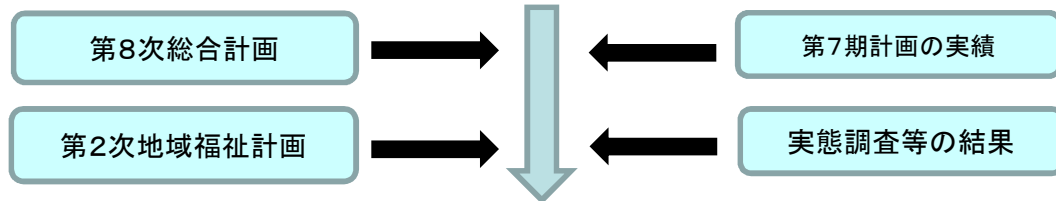


第 8 期計画策定の背景

- ・高齢者数は97,813人、認定者数は14,539人(2020.4現在)で、ともに増加傾向
- ・高齢化の進展に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加などの課題が顕在化
- ・これらの諸課題に総合的に対応するため、老人福祉法第20条の8の規定に基づく「市町村老人福祉計画」と介護保険法第117条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」を一体化した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定(第7期:H30~R2年度、第8期:R3~5年度)
- ・さらに第8期計画からは、認知症基本法に基づく「認知症施策推進計画」の要素も含む 新規

国の示す計画のポイント

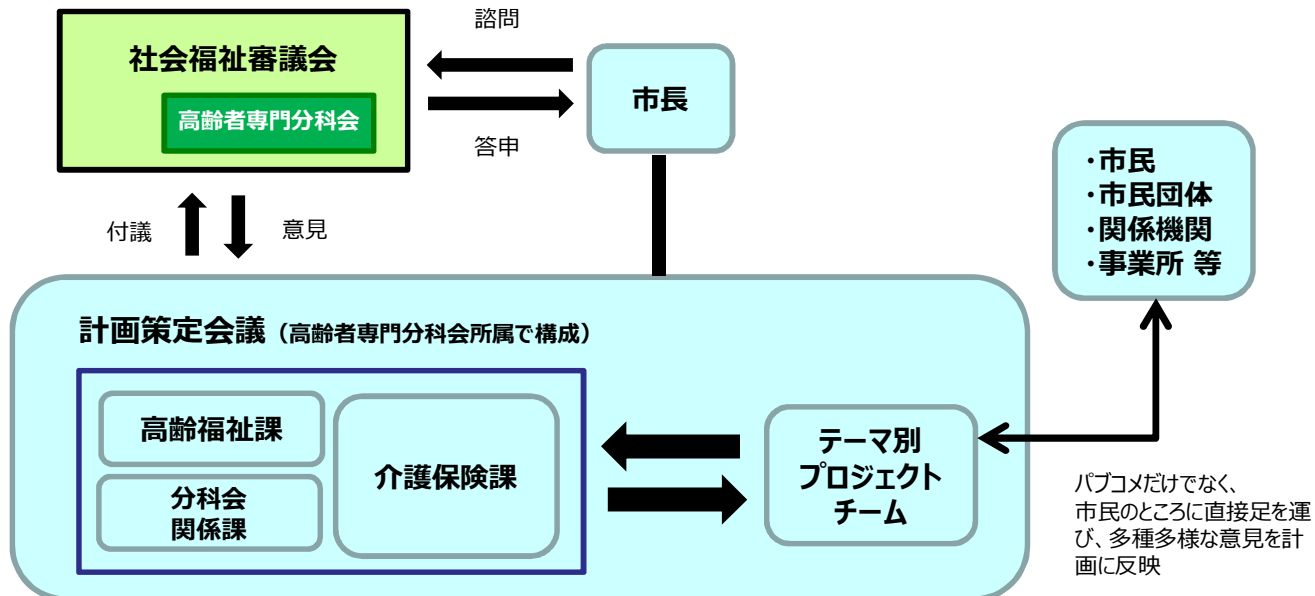
- ① 2025年・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
- ② 地域共生社会の実現
- ③ 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
- ④ 有料老人ホームとサービス付高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
- ⑤ 認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進
- ⑥ 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化



第 8 期計画 (R3~5年度) の策定方針

第 8 期計画は法定計画であるため、国が示すポイントを十分に踏まえるとともに、総合計画や地域福祉計画などの本市の計画との整合を図りながら、本市の特色ある計画を策定する。特に、目指す姿(基本理念)・重点施策・施設整備目標・介護保険料などの計画の核となる部分については、社会福祉審議会(高齢者専門分科会)での意見を踏まえて策定していく。

計画の策定体制



高齢者等実態調査

令和元年に高齢者などにアンケートを実施し、4,800人以上の回答を得た。この実態調査の結果を参考に、第 8 期計画を策定していく。

調査結果のポイント

- ① 高齢者の幸せ感 (概要版スライド26~29)
「健康」「外出」「知人等の会話」「会・グループ活動」が高齢者活躍支援の鍵
- ② 今後の介護保険料 (概要版スライド24)
現在のサービス水準を維持又は向上するために保険料の増加はやむを得ないと回答している割合は60%程度(高齢者:62.8%、要支援者等:53.3%、要介護認定者:65.1%)
- ③ 認知症の人が安心して暮らしていくために取り組むべきこと (概要版スライド15)
ケアマネジャーの57.1%が、「認知症になっても仕事やボランティアで活動ができる機会をつくる」と回答
- ④ 介護保険サービス事業所の課題 (概要版スライド16)
73.6%が「職員の確保」、40.0%が「職員のモチベーションの維持や向上」と回答

第 8 期計画の方向性

(目指す姿) (仮) 「おもいやりのまち
～安心して自分らしく生きられる 支え合いのまち～」

おもいやり：相手の気持ちに寄り添うこと

- ・他者を自分ごとで考える(我が事)
- ・誰一人取り残さない(SDGs)
- ・垣根を越えてつながる(丸ごと)
- ・価値観は多様である(ダイバーシティ)

基本目標 1

「安心して生きられる支え合いのまちづくり」

住み慣れた地域で安心して生きられるように、制度・分野・官民の垣根を越え、他者を思い合うまちに向けた取組を推進していきます。

基本目標 2

「自分らしく生きられる支え合いのまちづくり」

年齢や身体状況に関係なく、誰もが多様な価値観を認め合い自分らしく活躍できる取組を推進していきます。

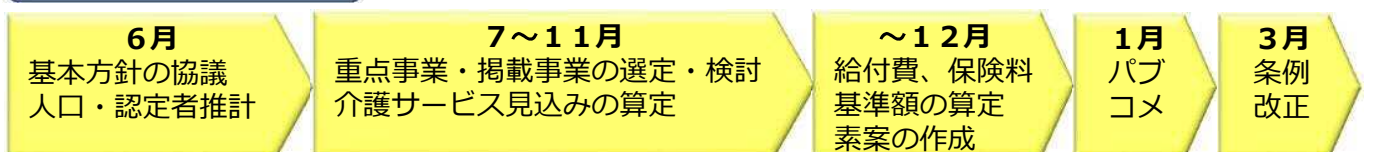
基本目標 3

「支え合いを推進するための基盤づくり」

誰もが支え合いながら生きられる基盤を整備していきます。

重点施策(案)	共通の視点	内容
① 社会参加の促進 ～介護予防と健康づくり～	地域共生社会の実現	介護予防や健康増進につながる「集いの場」の拡充など、高齢者の社会参加を促進する施策を推進
② 認知症施策の推進 ～共生と予防～		認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援につなげる仕組みの構築
③ 介護人材の確保・育成・定着	新しい生活様式	第7期計画に掲げた「介護人材の確保・育成」に「定着」の視点を加え、より一層対策を推進

今後の主なスケジュール



【議題2】第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る

令和2年6月30日（火）
福祉部介護保険課・高齢福祉課

人口推計・認定者推計(案)について(承認事項) (案)

1 人口推計・認定者推計の方針

◎第7期計画策定時に採用した手法を基本的に踏襲し、最新のデータを使用して推計を行う。

従来の推計（コーホート法による推計）

	平成30年			令和元年		
	推計値	実績値	実績/推計	推計値	実績値	実績/推計
総人口	426,215	425,828	99.9%	426,531	426,142	99.9%
高齢者数	95,267	95,241	100.0%	96,762	97,006	100.3%
認定者数	13,986	13,794	98.6%	14,543	14,386	98.9%

※総人口、高齢者数は10月1日時点、認定者数は9月末時点

「見える化システム」による推計

	平成30年			令和元年		
	推計値	実績値	実績/推計	推計値	実績値	実績/推計
認定者数	13,905	13,794	99.2%	13,880	14,386	103.6%

※認定者数は9月末時点。「見える化システム」には人口推計の機能はなく、認定者数推計のみ。

【理由】

- ・従来の推計では、第7期計画策定時の推計値と実績値の乖離がほとんどないため
- ・「見える化システム」による推計方法では、特に、令和元年は乖離の幅が従来の推計より大きい上、実績値は増加にも拘らず推計値は減少と逆の傾向を示し、正しく推計されているとは思えないため

2 人口推計・認定者推計の方法

(1) 人口推計

ア 全市

第7期計画策定時と同様、コーホート要因法^{注1}で推計。詳細は別添資料2頁から3頁参照。

注1…コーホートとは、同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団のこと。コーホート要因法とは、ある年次の性別・年齢別人口を基準として、その時間変化を死亡と移動の要因に振り分けて、出生により発生する新たな人口を加える推計方法。人口推計においては頻繁に使用される手法

イ 日常生活圏域別

第7期計画策定時と同様、コーホート変化率法^{注2}で推計。詳細は別添資料5頁参照。

注2…ある年次の性別・年齢別人口を基準として、過去における実績人口の動勢から変化率を求め、その率が将来も大きく変化しないものとして推計する方法。コーホート要因法を簡便化した手法

(2) 認定者推計

ア 全市

第7期計画策定時と同様。詳細は別添資料8頁参照。

ある年次の性別・年齢別人口における（要介護度別）認定者数の発生率を算出し、その率に上記

(1)アで推計した将来の人口を乗じ推計する方法。

イ 日常生活圏域別

第7期計画策定時と同様。詳細は別添資料10頁参照。

上記(2)アと同様の手法で、日常生活圏域ごとに推計する方法。

3 人口推計・認定者推計の結果【参考資料：令和元年10月1日時点のデータで推計】

※最終的には令和2年10月1日時点のデータで置き換え予定

(1) 人口推計（全市）

- ・太枠内が第8期計画期間であり、総人口はほぼ横ばいであるものの、中長期的には減少に向かう。
- ・第8期計画期間中に、団塊の世代（1947～1949年生）が75歳となり、以降、後期高齢者数が大幅に増加する見込みである。
- ・第8期計画最終年の令和5年には高齢者数が101,527人となり、令和元年実績より4,521人増加し、高齢化率23.8%となる見込みである。

◎人口推計値（各年10月1日時点）

	令和元年 (実績)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	2025 令和7年	令和8年
40歳未満	189,923	187,823	185,952	184,237	182,350	180,417	178,749	177,152
40～64歳	139,213	139,968	140,648	141,399	142,207	142,644	143,031	143,288
65～74歳	52,473	52,343	52,295	50,265	47,791	45,671	44,105	43,034
75～84歳	32,722	33,836	34,458	36,752	39,448	42,208	43,593	44,198
85歳以上	11,811	12,294	12,952	13,600	14,288	14,801	15,775	16,982
高齢者計	97,006	98,473	99,705	100,617	101,527	102,680	103,473	104,214
総人口	426,142	426,264	426,305	426,253	426,084	425,741	425,253	424,654
高齢化率	22.8%	23.1%	23.4%	23.6%	23.8%	24.1%	24.3%	24.5%

(2) 認定者推計（全市）

- ・太枠内が第8期計画期間であり、認定者数は第8期計画最終年の令和5年に16,861人となり、令和元年実績より2,475人増加する見込みである。
- ・認定率は、令和5年には当市の高齢者数の概ね6人に1人が認定者となる16.6%に上昇していく見込みである。

◎認定者推計値（各年9月末時点）

	令和元年 (実績)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	2025 令和7年	令和8年
高齢者人口	97,006	98,473	99,705	100,617	101,527	102,680	103,473	104,214
認定率	14.8%	15.1%	15.5%	16.1%	16.6%	17.1%	17.6%	18.0%
認定者合計	14,386	14,918	15,499	16,180	16,861	17,551	18,183	18,797
要支援1	2,240	2,327	2,418	2,528	2,638	2,747	2,843	2,924
要支援2	2,262	2,344	2,429	2,531	2,638	2,738	2,834	2,926
要介護1	2,809	2,924	3,049	3,201	3,352	3,500	3,637	3,765
要介護2	2,264	2,347	2,441	2,547	2,651	2,761	2,860	2,959
要介護3	1,704	1,765	1,833	1,912	1,991	2,074	2,151	2,230
要介護4	1,717	1,777	1,845	1,922	1,999	2,080	2,152	2,228
要介護5	1,390	1,434	1,484	1,539	1,592	1,651	1,706	1,765